

<アンケート>

**E** **愛着に課題のある子どもの理解と支援 和歌山信愛女子短期大学 西原 弘先生**

- ・ 話の内容、テンポ、パワー、すべてにひきこまれてしまいました。胸が熱くなり、思わず目頭をおさえる話もたくさんありました。というより、全てのエピソードがそんな話でした。詳しい資料を用意していただきましたが、それ以上のお話で資料中がメモだらけになりました。日ごろ、思っていたこと、これまでやってきたことを後押ししていただいたような気持ちになり、勇気をいただきました。ありがとうございました。

(支援学校)

- ・ リフレクティブリスニング、子どもの話を一旦、最後まで聴くということが、子どもを安心させ、信頼につながる事が分かりました。ありがとうございました。(小学校)
- ・ 1年ほど前から愛着について学び始めました。はじめの頃は自分のことを言われているようで研修の場で涙してしまうこともありましたが、今は私のようなあるいはそれ以上の辛い経験をして苦しんでいる子どものために何かしてあげたいという想いが強くなり、今日も参加させてもらいました。具体的な話や経験談をまじえながらお話しして下さったので、とても分かりやすく、もっとお話を聞きたい職場の他の先生にもきいてもらいたいと思いました。立場上、行き渋り・とび出し・不登校の子どもやその保護者と関わる場面が多く、たくさんの子どもの顔を思い浮かべながらのあつという間の2時間でした。参加できてよかったです。(小学校 養護教諭)
- ・ 普段の支援で「WHY？」を使っていたとこれからのかわりに役立てていきます。
- ・ この講座を選んで、よかったです。また、今後、箕面に来てお話をしてもらいたいです。(小学校・通級指導)
- ・ 自分の受け持っている子どもの様子や自分の指導と重ね合わせながら前向きな気持ちでお話を伺いました。勉強しないといけないという快い決意、教育のプロとしてこれからもやってやろう！という気持ちになれました。反面、子どもの気持ちを大切にできていない時があるなあと正直反省させられることもあり、考えさせられることも多く、校内での話し合いや連携に向けて情報発信(学んだこと)をしていきたいと思いました。(支援学校)
- ・ 「愛着」については、ずっと学びたくて今日受けられてよかったです。話を聞いていると、自分のクラスの子どもたちの顔が浮かんで来て、もっとああすればよかった。こうすればよかったかも。と、感じる事が多々ありました。私は性格的に叱ることや厳しくすることが苦手でどうしても聞くことしかできなくてもどかしく思うときがありましたが、“聞いて受容すること”の大切さを感じる事ができて、今後も大切にしようと思いました。(小学校・支援学級)
- ・ 自閉症スペクトラムやADHDの診断を受けている児童がほとんどですが、それだけじゃないんじゃないか、と思う事が多く、本日講演を聞きに来ました。担任している子

どもに当てはまることが多く、また支援の仕方についても、自分の至らない部分を知ることができました。月曜日から少しずつ実践していきたいと思います。(小学校・支援学級)

- ・ 大変わかりやすく、聞き入ってしまいました。明日からの実践に役立ちそうです。やってみます。(小学校・支援学級)
- ・ 具体的なかわり方や手法を様々な事例を通して教えて下さり、とてもわかりやすかったです。(小学校・通級指導)
- ・ 私は、大学3年生で、まだ教育の現場等知らないこと、わからないことばかりですが、具体的な事例をもとに、感情の動きなどをわかりやすく教えていただき大変勉強になりました。「教員も養育者である」という言葉を自覚し、今後も教員を目指して励もうと思います。(その他)
- ・ 具体的なお話で、すごく役に立つお話でした。自分を振り返るきっかけともなりました。明日からの実践に必ず役立てます。(小学校・通級指導)
- ・ 支援教育・生徒指導、密接であり(まだまだありますが)自分がやっていること学級づくり(助けてと言える)、聴く大切さを学ぶことがまちがっていないことがわかり、より明日からまた、今の自分にできることをやってみようと思うことができた。(小学校・支援学級)
- ・ アタッチメントに課題のある子だけではなく、ない子、保護者との関わり方などいろいろなことを教えていただき、明日からのやり方を考える機会となりました。(小学校・支援学級)
- ・ 具体的なお話をされてわかりやすかったです。
- ・ 「誰も責めない支援、事実と気持ちをくっつけて言い方の学びをさせる」ととても大切な、でもとっさに口から出てしまいそうな言葉をしっかりコントロールして接していきたいと思いました。(中学校・支援学級)
- ・ 本当に具体的に対応を教えてもらってすぐに実践したいです。2時間先生のお話にくぎづけでした。又、お話が聞きたいです。(小学校・支援学級)
- ・ 本当に意義のある研修でした。自分だけではなく、学校の先生方にも学びを深めていただきたいと思います。発達障がいの中に愛着の問題もあると感じています。(どちらが表かは色々ですが…)月曜日から子どもに実践してみます。「なんで」と聞かない指導！(中学校・支援学級)
- ・ 実践に基づいた具体的なお話をきくことができ大変勉強になりました。(その他)
- ・ 愛着障がいについてその特徴や対応について学ぶことができ、様々な子どもたちとの関わりや支援に生かしていきたいと思います。(小学校・通級指導)
- ・ 愛着に課題のある子が増えています。父親が次々に変わり、4月に転校してきたA君。先週学校で友達への暴力行為があり、相手親の意向でA君には常に誰か先生がつく状態

になっています。(主に男性) A君への対応がこれでいいのか悩んでいます。今日先生のお話を聞き、できる限りの時間で「母親」としての対応をしていこうと思います。毎朝「おばはん」「ブタ」と『あいさつ』に来るかわいいA君です。「おばはんじゃなく〇〇先生と呼んでよ」と言うと、「おばはん〇〇先生」に変化させてくれ、私の愛を確認しているんだろうと思っています。月曜日からまたがんばります。(小学校・通級指導)

- ・ 今年一年講師としていて、来年から正採用として働かせていただくものです。とても内容が濃くて、知らなかったこともたくさんありました。自分が日々子どもと関わっている中で、ここは修正しないといけないと気づかされる点がいくつもありました。ABC分析、愛着障がいの児童の関わり方など、今日教えていただいた内容を月曜日からの実践に生かしていきたいです。(小学校)
- ・ 市の研修でも愛着の講義を受ける機会が何度かあったが、今回の講義は特に普段関わっている子どもの姿を思い浮かべられた。対応であったり、行動分析などすぐに活かしていきたい。もっと、今関わっている子どもたちのことをよく見たい、知りたいと思った。支援学級で働いていて、関わる子どもは支援生だけでないし、その子どもも関わるのは通常学級の子ども達だから(いじめられたりするの)愛着に課題のある子の支援を学べて、とてもためになりました(支援学級)
- ・ 2時間では足りないくらい濃い内容でした。もう少し詳しくゆっくり聴きたかったです。職場にいる子どもを思い浮かべながらきき、子どもへの対応を再度考えなおす機会となりました。
- ・ 愛着についてしっかり学びました。是非学校(地域)に来ていただいて、担任達たちも聞いて欲しいと思いました。カウンセリングマインドが大切だと思いました。「なんでや!」でなく「何がきっかけ?どうしたかったん?」やってみます。(小学校・通級指導)
- ・ 子どもとの向き合い方、関わり方等、とても勉強になりました。
- ・ 現在自分が担任している子どもにとってもよく当てはまりとても参考になりました。他害がある子どもへの対応、実践してみます。とても具体的でよかったです。
- ・ (支援学級・高等部)
- ・ 愛着について他の先生からも話を聞いたことがありますが、今日はとても分かりやすく、具体的な話(支援方法)も聞けてとても良かったです。(中学校・支援学級)
- ・ 西原先生が実践されてきたこと、実際訪問相談でのお話を聞くことができ、大変勉強になりました。愛着(アタッチメント)に課題のある子どもは、大変多いと感じています。教員にも「愛着」というキーワードはだいぶ浸透してきたと思いますが、課題のある子どもたちに対応するには、もっと「チーム」として対応していく必要があるのだと痛感しました。一人ひとりの先生は、とてもいい関わり方をしている先生が多いので…。どのお話も、とても勉強になりました。特に「WHYを使わないで原因を追究する」の関わり方を実践していきたいと思います。

- とても勉強になりました。悩みに多くのヒントをいただきました。来週からもがんばります。(小学校・通常学級)
- 愛に溢れ、また、実践にもとづいた具体的なお話をありがとうございました。保護者が発達障がい、精神疾患であったり、家庭の貧困であったりでむずかしいケースが増えていると感じます。(小学校、支援学級)
- 子どもに向き合い話をする時、どうしても納得させようと話の流れを自分でコントロールしようとしてしまうことがあります。でも先生の視点を何度も読んで自分の中に落とし込み、ゆったりと心に余裕を持って話を聴いていきたいと改めて感じました。もっともっと話を聞いてみたかったです。